

稲垣大輔

日本の臨床工学技術で開発途上国医療を支援する 医療機器管理・教育システム

開発途上国では、ずさんな医療機器管理が原因で、医療機器のトラブルや不具合が発生しています。その結果、医療ミスや医療事故が多発し、人が命を落としている事を皆さんはご存じですか？

私たちは、SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」を実現するため、日本が誇る臨床工学技術を輸出する事で、開発途上国の医療を支援する事を考えています。その医療支援を実現するアイデアが、私たちが開発を行っている「医療機器管理・教育システム」です。多国籍言語に対応し、シンプルかつ分かりやすい、誰もが使える仕様を構築していきます。

また、莫大な医療機器使用に関連するデータをシステムから抽出・活用することで、更なる医療技術発展や持続的な医療体制構築を実現します。臨床工学技士の知見やノウハウを活用することで、生まれた国に依らず、医療の安全と質が担保された世界を実現していきます。



氏名 稲垣大輔
Daisuke Inagaki

所属 神奈川県立保健福祉
大学大学院ヘルス
イノベーション研究科

神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
修士課程2年
東京大学医科学研究所附属病院所属 臨床工学技士

開発途上国へのボランティア活動を通して、開発途上
国の医療を「システム・自動化」で支援することを志す。
生まれた国に依らず、医療の安全と質が担保された世界
を目指している。

Healthcare